

『戦争教材』で 子どもたちと 考えたいこと



「足りないモノ」を埋める

「たずねびと」を読んだ時、「何をどう教えればいいのか」と考えました。戦争の悲惨さは直接、描かれていない。大切な情報が足りていない気がして、そこをどう埋めればいいのかを考え授業を組み立てました。教材に足りていない情報、子どもたちに足りていない知識、それらを埋める役割を担う教師は、ヒロシマの平和公園を案内するピースボランティアのガイドのようにならないといけない。そう考えて授業を行うと、子どもたちは「綾」と自分を重ね合わせてこの物語からヒロシマを、そして、戦争を知るきっかけとなりました。そんなことを参加者の皆さんと考え深める時間にしたいと思います。



講師 吉永かおり
立命館小学校 教諭

日時：8月27日（土）13-17時

場所：ひとまちセミナールーム

（大阪メトロ谷町線「天満橋」下車徒歩5分）

費用：3,500円（税込）

内容：「たずねびと」（光村図書小5）を
中心とした授業デザインと進め方

対象：学校教職員など

申込 → [https://wbmf.info/
seminar/no-7237/](https://wbmf.info/seminar/no-7237/)



講師 ちょんせいこ
株式会社ひとまち代表